

第4回 RIDCマンスリー研究セミナー

物流研究の射程と課題

瀬戸内圏を事例として

スピーカー

津守 貴之

(岡山大学大学院社会文化科学研究科 副研究科長・教授
岡山大学文明動態学研究所地域動態学研究コア コア長)

日時：2021年9月29日(水) 12:00～13:00

オンライン開催

ロジスティクス、サプライ・チェーン・マネジメント、
グローバル・バリュー・チェーンなど、グローバル化が進展する中で
「物流」を表現する言葉とそれが持つ意味は多様になっています。
また物流活動は、人間社会の維持にとってさまざまな面でその重要性を
高めてもいます。その一方で、少なくとも日本では、物流事業者には
企業能力が低い中小零細事業者が多く、その業界構造は「古い」慣習を持つ
遅れた体質を持ち、生産性が低い産業とみなされてきました。
物流活動の重要性とその担い手である物流事業者の低評価の
両面を見ることによって、物流研究の射程の広がりとし
顕在化している課題を整理します。

申し込み先：<https://forms.gle/WbsZodnbpYnZXQtX9> (申し込み締め切り：9月28日12:00)

＊オンライン開催のため、ご参加希望の方は事前申し込みをお願いします。折り返し、参加用URLをお送りします。

問い合わせ先：文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp